

教科名	技術家庭（技術）	週授業時間	1 時間
-----	----------	-------	------

1. 教科書

技術・家庭 技術分野（開隆堂）

2. 授業の目標および内容

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術のかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を身につける。

(1学期) コンピュータの基本的操作方法・コンピュータ室の適切な利用方法を知り体験し、他教科での調べ学習に活用できる能力の習得を目標とする。生活や社会における技術の役割について学習する。ものづくりの工夫と進め方について学習する。

(2学期) 簡単な木製品の製作を通して、木材の特徴と加工方法との関係について理解させ、社会生活の中での木製品や森林の役割について理解させる。

(3学期) 製図・2学期の木材加工に関連して、構想図や製作図をかく。

3. テスト

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次なし	二次あり	一次なし	二次あり	期末あり
学力試験	なし		なし		なし

① 定期試験：各学期末のみあり。

内容・評価等について

インターネットを活用しての調べ学習によるレポートの提出・技家ノートの提出・二次テスト。（1学期）

木工加工実習による製作作品の提出・技家ノートの提出・二次テスト。（2学期）

製図の提出・技家ノートの提出・期末テスト。（3学期）

② 学力試験：なし

4. 長期休業中の課題

特になし

5. 副教材・参考書等

技・家ノート・技術分野（開隆堂）

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	ガイダンス。 生活や社会における技術の役割 情報に関する技術 (D) 材料と加工に関する技術 (A)	1 技術を見つけよう。 2 技術と私たちの生活 3 技術分野の学習 4 コンピュータ室の使い方。 コンピュータと周辺装置の名称と役割と基本的操作の習得。 情報を収集する際のルールやマナーを確認。 1 ものづくりの工夫と進め方。 2 さまざまな材料について。 材料の特徴。 材料と環境とのかかわり。 3 設計 設計の進め方。 使用目的と製作品の決定。 機能と構造を考える。 加工方法を考える。 接合方法と仕上げ方法を考える。	コンピュータやソフトウェアの機能を知り、基本操作ができるようになる。インターネットを使って問題解決を行う。環境問題やエネルギー・リサイクルについて調べよう。 製作実習に向け、さまざまな道具や工具の使用体験をする。

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
2	<p>材料と加工に関する技術 (A)</p> <p>木材加工実習</p>	<p>(木材による製作) 木材を使って簡単な加工をして木製品を作ってみよう。</p> <p>安全な作業の進め方 刃物などの危険性について 道具・工具の使い方について</p> <p>4 製作 部品表と工程表 けがき 切断 切削 穴あけ・溝ほり 部品の検査と修正 組立て 表面と角の仕上げ</p> <p>金属の特徴をまとめよう。(参考) プラスチックの特徴をまとめよう。(参考)</p> <p>5 材料と加工に関する技術と私たち 社会・環境とのかかわりについて 材料と加工に関する技術と私たちの未来</p>	<p>木材を使った製作実習。</p> <p>さまざまな工具・道具を安全に適切に使用する。</p> <p>持続可能な社会を実現するために。</p>
3	<p>製 図 (A)</p> <p>構想図や製作図のかき方を調べよう。</p>	<p>構想図のかき方を調べよう。</p> <p>作りたい作品のイメージを表現する。 製作図のかき方を調べよう。</p> <p>接合の様子や全体の形をより正確に表す。</p> <p>図面の役割・製作図のかき方・製図用具の使い方。 キャビネット図・等角図・外形線・寸法線・寸法補助線・引き出し線・中心線・想像線・線の名称と用途</p>	<p>立体を平面に表わす</p> <p>斜投影法について。</p> <p>等角投影法について。</p> <p>第三角法による正投影図</p>